

WISC-IVの結果解釈から支援へ — チーム学校・チーム医療での活用 —

代表的な知能検査である WISC は、子どもの認知特性に応じた療育や教育に役立てられています。本研修では、WISC-IV の実施と解釈、本人や家族への説明、関係機関への情報提供などに焦点をあてます。

講 師：石隈 利紀（東京成徳大学教授）・大六 一志（放送大学客員教授）

日 時：2020年3月20日（祝・金） 10:30～16:30（受付10:00～）

場 所：跡見学園女子大学2号館ブロッサムホール

〒112-8687 東京都文京区大塚1-5-2

丸ノ内線茗荷谷駅より徒歩2分・有楽町線護国寺駅より徒歩8分

<http://www.atomi.ac.jp/univ/about/campus/access.html>

参加資格：公認心理師・臨床心理士・学校心理士・臨床発達心理士・特別支援教育士・ガイダンスカウンセラー・これらの専門職を目指す大学院生

ご注意：参加申込画面の保有資格欄記入について

公認心理師以外の研修ポイントについては1資格のみとなりますので、必要な研修ポイント資格ひとつにチェックをしてください。

参加申込方法：本協会ホームページ「研修情報」よりお申込みください

<http://www.jacpp.or.jp/training/>

大学院生の方は本協会ホームページ「お問い合わせ」フォームから受講申込希望の旨ご連絡をお願いします

<https://www.jacpp.or.jp/contact/>

定 員：300名（定員になり次第申込みを締切らせていただきます）

受 講 料：7,000円

上記の大学院生3,000円（人数に限りがあります）

- ※1. 本研修は、公認心理師協会が今後認定を検討している『専門分野研修』システムの＜教育分野・保健医療分野＞の研修ポイントとする予定です。
- ※2. 学校心理士ポイントA、特別支援教育士の研修ポイント申請予定です。
- ※3. 臨床心理士の参加者が3割以上の場合、臨床心理士の研修ポイント申請予定です。